常磐毎日新聞
日刊
八月十八日夕刊
定價 一部金貳錢 一ヶ月金五拾錢 郵稅五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠治
福島縣平・長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社
（振替口座）東京 四〇二二〇番

平消防組の人件費減る
酷熱百度の平市會
昨日大論戰を展開

豫算委員會を終了した平市會は昨日午後二時半から市會議事堂に開會、野崎議長は豫算委員長として委員會の修正案報告の爲め議長席を遊沼副議長と交替して詳細に亘る修正案の說明あつたが從來斧鉞を加へた事の且つてなかつた平消防組が一名の部長を減らされると共に組頭以下幹部級の年手當や賞與を半減し同時に消防手の手當五十錢を五十錢以內と改め是等の人件費のみで九百四十九圓の削減を見るに至つた爲め警備費を中心として議場頗る緊張、酷熱百度の蒸し暑い場內にギツシリ詰め掛けた傍聽人が結果如何にと固唾をのむ中に組頭の井上議員が憤然起ち最初は委員長の野崎議長との間に一騎打の質問應答に火華を散らしたが井上議員が『消防手當の減額は組員の士氣を沮喪する』と云つたのがキツカケとなり減額贊成の委員會の修正案を支柱とする馬目、川崎、金子、山野邊の諸議員が蜂起し一方減額を否とする原案支柱の議員酒井、鈴木の兩小頭を始め鈴木(光)、松崎、矢吹(初)の各氏との間に贊否交々入り亂れて流汗淋璃たる大論戰となり殺氣立つ場面を展開したが最後に委員會の修正案の採決を起立に問ふた結果贊成は

高橋龜松、永山勇吉、吉田五平、鈴木庫左右、山野邊義政、馬目雅治、鈴木庄之助、松本德一、川崎文治、荻原義雄、藤田樂助、金古政通、大嶺庫、大谷武雄、矢吹龜作、遊沼龍輔、吉村安治郎、佐藤幸太郎、大井川幸隆

また修正案反對は

根本品藏、鈴木彌太郎、吉田寅之輔、酒井清、松崎松治、井上茂作、鈴木光吉、矢吹初彌

の小數で修正案は可決確定した爲め警備費は削減される事になつた、尚贊否の兩論點は左の如くである

〈減額に反對〉平消防組は全國にも稀れな模範消防として先年內務省から表彰された、然も是等多くの組員は無產勤勞階級の子弟で消防に出動すれば其日の糊口に窮する者もある、今や國家の非常時に際し銃後防備の强化を圖る最も大事な折柄、組員を優遇して任務を勉勵すべきに拘らず從來五十錢であつた手當をそれ以內とし火災出動の如き卅錢に改むるは甚だ失當であり其結果は組員の緊張を欠き士氣を沮喪する慎れがある。

△減額に贊成 一萬數千圓を算する警備費は平市豫算に可成りの重壓を感ぜしめて居た、然るに今回平窪側の消防組が併合されて一躍人員が倍以上の三百名を越すに及んでは今後一層の出費膨張を來す結果を見るであらう、而して平市は今や爲すべき事業が山積しその財源難に苦しんで居る、斯かる場合には義勇奉公の精神に富む組員たるものは自己の力に依つて平市の豫算を背負つて起つの槪を示すべきである、市の財政上減額は止むを得ない

各種團体の補助額決定

平市會が決定した各種團體の補助額左記の如くである

百十圓	平敎育會
四五〇圓	平市聯合青年團
一九〇圓	平女子青年團
五十圓	平婦人會
三百圓	磐城訓盲院
三六〇圓	衛生組合
一四〇圓	平市農會
一千圓	平商工會
二十圓	林野保護組合
百圓	養蠶實行組合
四百圓	在鄉軍人聯合分會
四六〇圓	火防組合
百圓	平自營會

無念！觀測中に重要器具を落失
鰹漁の觀測を中止
磐城丸歸る

縣水產試驗場磐城丸は一千マイル海洋觀測がてら最終の鰹漁業に出漁中にあつたところ鹽谷崎正東五五〇カイリで觀測中不幸綱索切斷、檢水器を落失し觀測不能となつたため同所から一千カイリの觀測を中止歸港した旨十六日縣水產課へ報告して來た同船の本年の水揚豫算は鰹、秋刀魚、鮪配繩者各一萬二千圓づゝ計三萬六千圓のうち鰹漁業のみで既に一萬八千圓を漁獲してゐる

カフエーを荒し
高飛びして捕る

三重縣南牟婁郡生れ目下住居不定漁夫庄司松之助(三三)は今十八日平檢事局で櫻井檢事取調べの結果詐欺罪で起訴刑務所に收容された、同人は去る六月十五日三重縣北牟婁郡尾鷲町內カフエー太陽方外二ヶ所で約二十圓分の無錢飲食を働き高飛びして小名濱町に入り込んだ處を手配により張り込み中の平署員に檢擧されたものである、公判は明十九日午前十時から平區で田中判事係りの下に開廷される

ダイ爆破
控訴取下ぐ

石城郡赤井村坑夫廣川貞治(四七)は去る五月二十三日の夜同郡湯本町入山小學校の床下にダイナマイトを裝置して爆破させ福島地方裁判所から爆發物取締規則違反として懲役三年六ヶ月に處され不服であるとて宮城控訴院に控訴したが昨十七日控訴を取下げて原審に服罪した

天氣豫報

今晩は南の風晴
曇
明日も南の風晴

浴場荒し
懲役十ケ月
直ちに服罪

既報懲役一年を求刑された海水浴場荒し——川部村大字三澤字北ノ作四日屆業前科三犯市川悅次(二五二)に係る窃盜事件の判決公判は今十八日午前十時から平區に開廷野木判事から懲役十ヶ月を言渡され直ちに上訴權を拋棄服罪した

毎朝元氣な……
皆勤者四百卅名
平市のラヂオ体操
餘すところ後二日

平市のラヂオ體操の會も愈々餘すところ後二日となつたが今十八日朝迄の參加延人員數は六萬二千七百九名で昨年の四萬七千七百五十二名に較べ一萬四千九百五十七名が增加頗る好成績を示してゐる、其後の參加人員は左の如く皆勤者は目下の處四百二十九名あるといふ

十三日	三、三五一
十四日	三、四七七
十五日	三、三四〇
十六日	三、三三八
十七日	三、四一〇
十八日	三、二〇五

泳ぐ幼兒
逐に溺死

內鄕村炭礦坑夫渡邊又藏氏長男勝(八)男君は昨十七日午後零時半頃附近の好間川で遊泳中溺死した

空屋と知らず忍込んだ泥的
餘罪が續々發覺

既報去月三十一日深更磐崎村大字藤原字田場坂吉田延次郎さん方隣りの空家に忍び込んだところを區長さん等に發見されひつ捕へられて平署に突出された埼玉縣比企郡平村生れ目下住居不定無職前科一犯岡野藤太郎(三三)は其後平檢事局で櫻井檢事の取調べを受けてゐたが七月二十九日午後十時上遠野村內の某家から白麻絣單衣一枚外五點(價格八圓九十錢)を窃取した外翌三十日午後六時頃・磐崎村大字藤原字小炭燒吉田延次郎方からパナマ帽一ヶ外四點(價格三圓五十錢)を窃取し更に午後十二時頃同村大字藤原字江尻茂方に忍び込んだが家人に發見され逃走した事判明今十八日窃盜罪で起訴公判に廻された

猛暑未だ去らず
市民完全に茹だる

立秋にたつても猛暑は仲々に去りそうもない、朝夕の風に秋は仄かに感ぜられぬでもないが日中はどうして——けふも劈頭はぐん〱水銀柱が昇騰して正に九十四五度、こいつはちと凄い殘暑と云ふべきで市民は完全に茹だり、氷水屋は滿員だつた

四倉野球戰

四倉町鷄鳴會主催の第五回町內野球大會は來る二十日午前八時から同町小學校々庭に舉行される、參加は六チームの筈

海上亂鬪の加害者逮捕
植田署に留置

既報去る十四日午後一時頃双葉郡請戸濱沖合禁漁區において密漁中を發見され取押へに赴いた荒川要助外四名に重傷を負はせ海中に投げ込んで逃走した犯人については浪江署の手配により十五日植田署に逮捕された、右は植田町小濱船主丹野藤一方發動機船四徳丸船長齋藤四郎(三七)外十六名で十六日浪江署に移送漁業法取締規則違反及傷害罪として留置取調中である

た

非常時の盆踊り唄

平市鎌田町　酒井貢

——昨日の續き——

×
新の七日は　蘆溝の橋で
無法支那軍　吾を撃つ
×
それを始めに　暴逆無禮
毎日挑戰　身を識らす
×
軍は隱忍よくこらへても
不法行爲は　なりやまず
×
止むなく二十日正午にて
獨自の行動　通告す
×
八寶山の敵　またしても
豐臺部隊　遂に起つ
×
不擴大への　吾が希望さへ
今は全く　遺憾なり
×
東洋平和　その膺懲に
今ぞ起つたり　日本軍
×
雷雨ものかは　吾が空陸は
一氣に敵を　擊滅す
×
二十九軍に　三十八師
南苑後に　姿なし
×
北支の空で　おさまる事を
蔣はおろかよ　上海へ
×
西洋依存で　四億の民も
やがてどうなる　支那の國
×
吾が親善も　提携も
逆きうらみが　可愛想

水產製品の縣營檢査を
來月一日から
一齊施行さる

水產製品の聲價向上と販路開拓に資すべく漁油、漁肥、煮干、罐詰等の縣營檢査施行規則はかねて農林省へ認可方申請和平縣水產課主任屬が上京認可促進方陳情の結果大體本月末指令交附されることになつたので縣ではいよ〱九月一日から一齊にこの縣營檢査を施行すべく準備中にある檢査本所を縣水產課內に支所を小名濱、江名、四倉、原釜の四ヶ港に置き常置技手三名臨時檢査員九名の人選も決定發令するばかりになつてゐる

豐間の漁港
躍起の陳情

豐間漁港第二期工事に關しては既報の如く屢々陳情したに拘らず本年度修築工事は四倉港に奪はれて終たので來年度には是非共實現を圖らうと鈴木村長外有志一同は十六日午後出縣君島知事に陳情した

乙女達の誠心
慰問袋寄贈

磐女二年生市內鍛冶町二八高野喜美子、同笑美子同吉江、平第二校五年生同瞬江、同二年生光子、同啓子、安積高女一年生郡山市稻荷町大槻貞子の乙女達は今十八日各慰問袋一ヶ宛市役所に寄託した

巡査試驗合格氏名

既報去る十六日原町署で行はれた本縣警官練習所の入所試驗の結果は此程發表されたが平市及び本郡下の合格者は左の如くである

△平市横山昇△湯本町上遠野榮松△草野村片寄工

河西氏逝く
元農銀の平支店長

元農工銀行平支店長河西八十治氏は豫て胃癌を病んでゐたが十五日中村町の自宅で死去昨日葬儀執行さる、氏は先年前後二回に亘り平支店長を勤め地方金融界に貢獻した人

平市人事

▣死亡

△長橋町五〇目下廣島市牛田町一二二六川澄政善氏甥川澄和男(一)さん
△下平窪字曲田二四目下東京市足立區千住八千代町三〇明智政長氏同居者明智初惠(七)さん

平職業紹介所

⊠求人の部

△女工　四十歲迄　給料面談　尋卒程度
△鑛工　三十歲以下　給料面談　尋卒程度
△採炭夫　十八—四十才迄　日給一圓五十錢　尋卒程度
△印刷工　年令不問　委細面談　尋卒以上
△土工夫　教育年令不問　日給一圓二十錢
△雜夫　教育年齡不問　日給七十錢
△牛乳配達　三十才位　給料面談　高卒程度

⊠求職の部

△鐵工　三十一才　尋卒
△雜夫　二十二才　高卒
△土工夫　四十九才　尋卒
△漁夫　三十才　高卒

JOHK

今晩の部

▼後六、〇〇 天然記念物めぐり「靜岡縣下の天然記念物に就て」杉本順一
▼後六、三〇 ハーモニカ合奏 仙臺高等ハーモニカソサエテイ
▼後七、三〇 講演「非常時に於ける國民の經濟的覺悟」武田鼎一
▼後八、〇〇 連續講談「田宮坊太郎」伯龍
▼後八、五〇 連續浪花節「血煙高田の馬場」春野百合子
▼後九、三〇 時報 ニユース 明日の話題 氣象通報 番組豫告

明日の部

▼前七、〇一 朝の修養「日本高僧傳」眞宗禿氏祐祥
▼前八、四〇 婦人夏期講習「日本刺繡」鯨岡フユ子
▼前一〇、三〇 お蠶所講座「季節野菜の見分け方」高橋虎松
▼後〇、〇五 管絃樂 コロナ・オーケストラ
▼後〇、二五 國民歌謠 ユーフオニツク・コーラス
▼後六、〇〇 天然記念物めぐり「天然記念物としての小木笹川の兩海岸」齋藤秀平
▼後七、三〇 講演「ヒユーストン氏を紹介す」藤原銀次郎、「西東二大博覽會」ハーバート●ヒユーストン
▼後八、〇〇 連續講談「田宮坊太郎」伯龍
▼後八、三〇 長唄名曲選「賤機帶」杵屋勝五郎他
▼後八、五五 連續浪花節「血煙高田の馬場」春野百合子

●保健サル又●

新案特許第二三三一五五號

運動に！活動に！最も輕快！

七大特長
一、胃腸健康增進効果
一、保健腹帶兼用
一、体裁ノ最優美
一、穿心地ノ輕快
一、耐久力ノ豐富
一、洗濯簡單
一、價格ノ至廉

—定價—
大 特大 0.30
中小 0.28

▼地有名洋品店に有▲

白柄劍風連

大島多慶夫作
井川洗厓畫
布施長春書
村瀨春映書

……〔三三〕……

愛宕山の月 (四)

『左樣でござります。拙所の[illegible]は……？』

『まづ』

と、[illegible]は[illegible]へてゐたが、

『當人の[illegible]もあらうが、二千石くらゐの[illegible]は[illegible]へなければなるまいと[illegible]じてゐる』

『果して滿足致しませうかな』

×　×

源太は石谷丹波守からの通知で、近藤や阿部が紀州家の[illegible]と稱する馬廻り役[illegible]と愛宕山上で會[illegible]する事を知つた。

そして、萬一を[illegible]つた彼は、小手[illegible]に身を固めて、日の暮るゝのを待つてゐた。

陽の影がとつぷりと沈んだのを見計らつて、源太は[illegible]の[illegible]を[illegible]ち出で、忍びやかに[illegible]へ[illegible]つた。もう[illegible]のやうな月は、斂灔として美しく光つてゐる。身を[illegible]すには[illegible]だ都合が[illegible]いが、[illegible]の[illegible]に五六本かたまつて高く[illegible]えてゐる[illegible]の[illegible]に忍んで待つてゐた。

五つ過ぎた頃。坂を登つてくる人[illegible]れた[illegible]がひゞいたが、源太は[illegible]の[illegible]から[illegible]を[illegible]らして眺めてゐた。それは果して近藤と阿部と長阪の三人であつた。

『うむ。[illegible]いのばかり三人[illegible]つて來たな』

と、源太は[illegible]のなかでうなづいた。

三人は[illegible]〱と四方を見[illegible]して、[illegible]合の[illegible]を物色するらしかつた。

『まだ……[illegible]ぞ』

と[illegible]い[illegible]で云つた。

『二三日前から[illegible]しい町人風の男が[illegible]の[illegible]の[illegible]りをうろついて居つたのを[illegible]たよ』

『[illegible]。[illegible]暗鬼ぢやらう』

『いや。さうばかりも云はれんよ。何しろ。[illegible]町奉行の石谷丹波守といふ奴は、並大抵でない[illegible]ぢや。これは假令だが、人の有所を探ると云はれて居るくらゐの人物ぢやから』

『でも……まさか今夜のことは判るまい。第一[illegible]氏の許から[illegible]した[illegible]面を見なければ[illegible]も[illegible]所も判らんのぢやからな』

と、阿部は左[illegible]にしない[illegible]子で云ふ。

長阪も同[illegible]らしく[illegible]くうなづいた。近藤はそのまゝ默つてしまつた。

[illegible]？

三人の眼は[illegible]のやうにギラ〱ラと[illegible]つた。

山の[illegible]から[illegible]行の[illegible]さびしい[illegible]を[illegible]んでくる。[illegible]々と[illegible]えた[illegible]の[illegible]きには[illegible]が[illegible]くひいてゐる。風はないが冴え切つた月の光は、三人の影を[illegible]く大地に[illegible]いてゐる。

『[illegible]いな。どうしたのぢや』

と、近藤は[illegible]く。

長阪は、[illegible]が特[illegible]な眼を光らせて四方を見[illegible]してゐた。

『公儀の役人に感づかれて、尻込みをしてゐるのぢやないか』

と、また阿部は近藤に向つて云つた。

『さ。何とも判らん。實は俺にも少し[illegible]ひ當る事があるのだ』

『どんなことだ』

と、長阪は[illegible]く[illegible]を[illegible]いた。

高物價に處する主婦の心掛け。

先づ衣服及び外出費を節し 生活に緊張を失つてはならぬ

女子大學教授 氏家壽子女史談

「ママ、あなた今月も赤字よ」「もう半分月給が増えたらなア」あとは溜息――とこんな切實な經驗を近頃の俸給生活者の何パーセントかは毎月末繰返してゐるわけです、近頃のやうに目の廻る程物價が上ると一月働いて貰ふ俸給袋をもつて歸る良人の氣持は勿論のこと、一家の衣食住の經濟である主婦の苦勞は容易ではありません 然しお互にこゝを一つ奮起一番

切拔け方法を講じやうではありませんか、容易に實現しさうもない增給は（涙の出る程ほしいけれど）當分ないものとして、夫婦で相談して、もう少し切りつめる餘裕のあるものを發見し實行してゆくことです、物價高に反比例する月給に對して不平ばかり云つてゐたら一家族全部の心がくらくなつてしまひ、つひには生活に對するハリをうしなつたら、しぼんだシャボン玉のやうになつて下へ／＼おちてしまふのは當然です

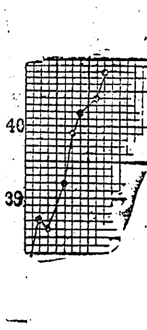
衣服の活用――世の奧さん方よ、丁度更へ時でよい機會です、簞笥長持ちを全部ひろげて見て、家族の衣服の數をしらべて見ませう、冬物、夏物と區別して見ると、案外あるものですよ、中には「こんなのまであつたわ」とわすれてゐた着物もあるし、使用出來ないつもりで押込んで置いたものが案外シャンとしてゐて未だ使ひ道があるものもあります かうして一應全部まとめたらこの二、三年間でありつたけの着物を着てしまふまで買はない決心をしませう、靴や下着の消耗品は買はないではゐられませんが、外出着とか季節の着物などは決心次第で買はずにすむはずです 發育盛りのお子さん方には無理ですが、支出のうちで食住費をのぞいては衣服が一番大きいのですから夫婦二人の分だけでも我慢をしませう、そしてそのお金を貯金なさるのです、そのかはり主婦は今までより一層手まめに洗ひ張り、繕ひつくろひをしなければならないのは勿論です

食物榮養化――いくら物價高でも、食ものを減らすわけには一概には行きません、殊に食ざかりの發育ざかりのお子さんに、量も榮養も少いものをたべさせねばならぬやうな主婦は、いくら貯金は上手でも、おそろしいことです、おかずは減らさないでも物價の上る前に三十錢ですませたものなら、上つてからも三十錢ですませることは、頭と腕の如何によつてたしかに出來ます、價はやすくても、量と榮養の多いものを材料にして、御馳走をこしらへ得ることは經驗から推して斷言しておきます。一方奧さん方は、日用品の値段といふものをもう少し研究すべきだとおもふのです、何がどのやうにあがつたか、安物の品質はどの程度か、その物價高はどんな風にうごきがあるのか注意してゐてください、ラヂオや新聞でも知ることが出來るのです、それによつて條件のよいものを買ふ工面をすべきです

◇ハースタイン…… 五千年前のせのエルサレムのヘブリュウ大學からの探檢隊がエスドラエロン溪谷で昔のものを發掘することに從事してゐましたところ、僅地下六フィートのところに五千年前に建てられた家屋の跡を發見しました、また、それと同じ時代の陶器やひうち石などもみつかりました

○鰯料理の臭氣をのぞくには、煮る時に梅干しを一、二個入れるとよい。同時に味も上品になる。一擧兩得である。

○我國における盛夏の溫度の最高記錄は昭和八年七月二十五日山形における四〇・八度、病氣の大熱と同じ位。



○センブリ（藥草）の汁を子供の寢衣につけて乾せばノミ等にくはれぬ。

○中華民國の兵力は、現在約二百餘師團、兵員約二百餘萬と推定されてゐる、傭兵制度である。

やせたいよ ふとりたいわ

◇

ロッパと田村淑子

BBKをおん出た田村淑子はロッパ一座に出演するので挨拶かたがた打合せのため下阪、寶塚の川萬樓にロッパ座長を訪問した

――淑子さん、やせてうらやましいよ、これから暑くなるとかなはんからな

――あら嫌、有樂座が待遠しくてまたやせさうですわ、ふとつてるのが羨ましい、先生だつて肥えてるから「ガラマサどん」をやれるんでせう

――大いにやせたまへ、ボクはやせた女が好きだ、時に君は歯をなほしたさうだが

――えッ、だつて見つともないんですもの

――近頃女優が歯を直すときつと何かあるつてね、それはさうとして少女歌劇を出たからつて惡食しちやいけないぜ

――えッ？

――なに、君にはまだわからないさ

初めて洋服を召す方の缺陷？

スマートとまでゆかずとも せめて無難な形を

◇―最近洋服は非常によくなつたとはいひながらこの夏になつて新しくはじめた一部の人達は、どうにも可笑しなものです。惡口だけでなしに、今少しキレイなものになつたらと思ひます。

◇―まづ夏の洋服の第一條件は、出來るだけ簡純である事です。ところが申し合せた樣に最初の方々は、複雜な形やいろをお喜びになります。まづ色は二色以上を使はない位であつてほしいそれをブラウスにもスカートにも、何の調和もない柄物をゴタゴタと取り合はせていらつしやいます

◇―はじめて洋服を召す方は、どのみちスマートといふところ迄ゆきませんから、せめて無難なナリをなすつたらいゝとおもひます

◇―それから帽子、ハンドバッグ靴等の付屬品の調和、これ等も出來るだけ一色にしておしまひになつて下さい（小南錦枝氏）

氣うつや腹立ちもお風呂でけろり

溫度と時間の調節で自由自在 で、その理由は？

日常の公私生活から受けるといろいろな憂鬱や憤怒の感情も少し規則的に風呂を利用することによつて鎭靜され、平常に復するといふことは、現に精神病患者に應用され、非常な好成績をあげてゐます、ではどういふ働きによつてさうなるか？と云ふ事とその方法とを――御紹介しませう

二つの入浴法

焦燥の感じや、外部へ出せぬ憂鬱、憤怒、やり場のない一時的感情の興奮などをしづめるためにはごく簡單な二種類が考へられます

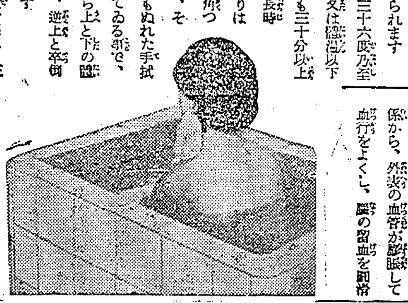
その第一は攝氏の三十六度乃至は八度といふ微溫又は微溫以下のぬる湯に少くとも三十分以上二時間までといふ長時間出たりはいつたりは勝手ですが、兎も角つかつてゐる事です、その場合水でも湯でもぬれた手拭を頭上にいたゞいてゐる事で、それによつて首から上と下の體溫の調節をはかり、逆上と卒倒とをふせぐわけです

他の一つの方法は溫度を同じく三十八度乃至九度に保ち、ぬれた手拭を頭上にして約三十分間位出たりはいつたりするのです、そして後で三分位水浴をするか、または冷水で身體をふくかしてこの場合にかぎつて一時間くらゐは床につくことです

なぜ鎭靜する？

では以上の簡單な二つの方法によつて體內的の機能がどう云ふ風に作用するかと申しますと、

一、直接的にはまづ一定の溫度が皮膚を刺戟することから、濕熱感神經に作用してその快感が腦の中樞につたはるのです、第二の微溫浴で長時間にする場合は殊に濕熱のあとへ冷感が來ることによつてその交錯が溫覺神經にひゞきます



二、からだ全體の溫度が調節されて、しかも一定の溫浴をする關係から、外表の血管が擴張して血行をよくし、腦の留血を圓滑ならしめもします

三、身體中の血のめぐりが調節されてくると、ホルモンの働きが規則的に放出がやんで、その分泌狀況が感情を平靜にするやうに調整されて來ます

四、以上の三つの働きはさらにせい神的に交感神經に作用して、一、二時間も經たころ、間腦といつて感情の支配の主體ともなる腦の一部に快感をつたへ、直接的にも影響を來たすのです

かくて身體全體の新陳代謝をよくすれば、夜の睡眠も十分にとれてこれだけでも感情は平靜に歸するものです（東京市・松澤病院醫局長[illegible]醫學士）

護れ太平洋の波

寺島柾史（作）

村瀨春映（畫）

……船 二三二……

赤いポスター（六）

「だから、何の用かねと、きいてゐるぢやないか、おれは、密獵をやつたことはあるが、そのほかには何一つ惡いことはしてゐない」

「いや、惡いことをしたとはいはぬ。たゞ參考人として同行してもらひたい」

「何の參考人かね」

「君の手に握つてゐる獸皮、その事件の參考人としてだ」

「おれは、この事件とは、かゝはりがないよ」

「いゝから、同行したまへ。いふことがあつたら、本署で聞かうぢやないか」

リンカンのやうな男は、相變らず突つてゐる。

「君は、密獵者かい」

警官は、ボルトメンと肩をならべて步きながら訊ねた。

「むかしは、北洋荒しの密獵船の船長だつたよ」

「北洋はどこかい」

「アラスカ、それからベーリング海、カムチヤツカ方面をも荒し廻つたよ」

「ずゐ分、面白いこともあつたらうさ」

「都會でくらすよりか、北洋でくらした方が、よつぽどいゝ。都會はうるさいよ。人間がみんな野獸のやうにみえてね」

四辻で、自動車に乘せられた。警官はやはりボルトメンと肩をならべて腰かけ、リンカンのやうな男は、助手に腰をかけた。

「戰爭が、はじまつたといふが、本當かね」

ボルトメンは、訊ねた。

「まだ宣戰が布告されないが、太平洋上で、いくさがもう始まつてゐるらしい」

「らしいは妙だ」

「パナマ運河を破壞されると、アメリカ合衆國は、どうして困るのかね」

警官は、ちよつと、ボルトメンの顔をみて

「それを、君に訊かうとおもつてゐるくらゐだ」

「……」

「アメリカ艦隊は、すでに太平洋に遠航して待機中だ。そのあとで運河を破壞して何になる……といひたいね」

ボルトメンは、それには、答へずに

「とにかく、戰爭がはじまると、儲かるのはピコルだ」

と、獨り言のやうにいつた。

「失業者救濟にもなる……と、大統領がいつたことがある」

「われ／＼とは、かゝはりがないよ」

やがて、警察本部に着いた。

「ほんとうに、參考人としてだけかい」

ボルトメンは、念を押した。

「むろんさ」

警官に連行されて、警察本部の部の中へ入つた。そして、そのままポンと、一室へ放り込まれてしまつた。

薄暗い一室に放り込まれてしまふと、ボルトメンは、やつと落着きをみだした。

パナマ運河の破壞を企てゝ、みごとに失敗したのは、ハワイ青年と、ルードの奴等にちがひないといふことに、いよ／＼確信を得たやうな風がした。

「畜生！おれを北千島に置き去りにした罰なんだ」

ボルトメンは、ルードに對する新たなる憎惡をかんじた。

「さうだ、取調られるまでもなく、こちらから、そのことを、いつてやらう」

さうおもつたのは、かれとしては當然のことだ。

ボルトメンは、扉を叩いた。

「もし、もし」

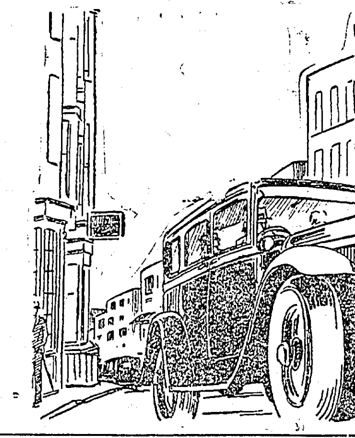
警官が、小窓から顔を出した。

「何かね」

ボルトメンは、小窓に取すがるやうにして

「はやく、取調室へ出してください」

「まだ、犯人が、護送されて來はせんから……」



美味！芳醇！
たひら正宗
山崎合名會社
電話一〇番

石炭
コークス
豆炭
ツ
阿部石炭店
平驛前 電三十七番

久
橫山商店
債券部
現物賣買
勸業債券
復興債券
割引債券
雜貨部
時計
万年筆
レザー各種
化粧品
平市仲間町五六
電話二七一番 振替東京九〇六〇一

外科 內臟外科
X光線科
院長 安齋徹
―新設―
產婦人科 醫學士 黑澤廣
▽入院隨意△
平市田町
安齋醫院
電話四七五番

旅舍 大幸館
私は平市出生ですから特に鄕里の皆樣方の爲に御便利を圖ります
主人 比佐棟雄
東京上野驛前（下谷郵便局橫通角）
電話下谷六七七番

平病院（電六四一番）
平市警察署側（元共濟病院跡）
院長 醫學博士 鈴木定藏
內科 院長 醫學博士 鈴木定藏
小兒科 部長 醫學士 木下基一
產婦人科 一般外科 部長 醫學士 池谷宗三郎
皮膚泌尿器科 レントゲン科 部長 醫學博士 鈴木定藏
物理的療法科 技師 岡田重德
藥劑科 部長 藥劑師 吉本孝平
◎診療時間 每日午前八時ヨリ午後九時迄（夜間診療ニ從事ス）（急患ハ此ノ限リニアラズ）
往診 隨時
病室完備……入院隨時【自炊ノ便アリ】
◎入院料 特等―貳圓 一等―壹圓五拾錢 二等―壹圓參拾錢

耳鼻咽喉科專門
鈴木醫院
醫學士 鈴木正男
平市田町（藤田女學校前）
電話五八番

季節…料理
江戶前
鳥・あわび
うなぎ蒲燒
やな川
仕出迅速
魚榮
平市田町（電話四二四番）

吉田眼科醫院
平市紺屋町
電話六八番

初夏の氣分と行屆いたルーム
お出をお待ち致します
珈琲と御食事
グリル バッカス
電七〇二
◎女店員募集

難波醫院
內科一般
醫學博士 難波睦
看護婦募集
平市大町新川端
電話五〇二番

磐城セメント會社特約店
久
釜屋商店
磐城平市五丁目
電話九・九九
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久の生命なり

外科
專門 X光線科
上田外科醫院
平市南町
電話一二九番

吸入用酸素 純度99%
度量衡
モノサシ
マス
ハカリ
計量器
體溫計
寒暖計
秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

關內藥局
電話四〇番
寫眞材料一式販賣致シマス

產婦人科
醫學博士 五十嵐雄二
病室增築、手術室完備
平市新川町 電話三六九番

和洋 建具 家具
テーブル
椅子
其他裝飾品一般……
御用命は迅速に御努め致します
製作販賣
諸官衙 各學校 御用達
平市五丁目四
片寄製作所
片寄小彌太
電話四八四
十五、六歲以上の見習徒弟募集
（御希望の方は至急申込下さい）